令和６年度食の提供における自己点検・自己評価

※給食室職員４名にアンケートをとり、その平均スコアをまとめたものです。

【記入方法】
１・２・３・４・５の５段階評価です。
該当する番号に〇をつけて下さい。

【評価】
Ａ：できている
Ｂ：ほぼできている
Ｃ：ややできている
Ｄ：あまりできていない
Ｅ：できていない

	内容	評価
1	「保育所における食事の提供ガイドライン」をベースに保育施設の食育に関する方針や目標に基づき栄養士、調理師、保育者などが定期的に情報交換をし、連携を図って食に関する取り組みを行っている。	Ａ　Ｂ　Ⓒ　Ｄ　Ｅ
2	給食は、子どもたちが発達して行く上で、極めて大切なものであることを理解し、日常の業務を行っている。	Ａ　Ⓑ　Ｃ　Ｄ　Ｅ
3	食事摂取基準に基づき、乳幼児の健全な発育・発達の実態に沿った栄養バランスの整った給食を提供している。	Ａ　Ⓑ　Ｃ　Ｄ　Ｅ
4	献立は季節感を取り入れるなど、変化に富んだ内容に努めている。	Ａ　Ｂ　Ⓒ　Ｄ　Ｅ
5	喫食状況や残食などの評価を踏まえて、調理方法を工夫するなどに努めている。	Ａ　Ｂ　Ⓒ　Ｄ　Ｅ
6	本物の食材に触れる機会を取り入れている。	Ａ　Ｂ　Ｃ　Ⓓ　Ｅ
7	乳幼児にふさわしい食生活が展開されるよう、給食について見直しや改善をしている。	Ａ　Ｂ　Ⓒ　Ｄ　Ｅ
8	園で配慮していること（形状や量など）を展示や試食会やブログを通して保護者に伝え、関心を促すよう努めている。	Ａ　Ⓑ　Ｃ　Ｄ　Ｅ
9	子どもの様子を見たり、子どもや担任の話を聞く機会を設けている。	Ａ　Ⓑ　Ｃ　Ｄ　Ｅ
１０	レシピや調理方法を知らせるなど、保護者が家庭でもできるような情報提供を心がけている。	Ａ　Ｂ　Ｃ　Ⓓ　Ｅ
１１	子どもが栽培、収穫したもので、調理したものを食べる機会をつくるよう心がけている。	Ａ　Ｂ　Ｃ　Ⓓ　Ｅ
１２	授乳、離乳期には、一人ひとりの子どもの状況（未摂取の食材の把握など）に応じて、保護者、保育者と連携をとりながら、時間、調理方法、量などを決め、一人ひとりの発育・発達の段階に応じた食事提供をしている。	Ⓐ　Ｂ　Ｃ　Ｄ　Ｅ

１３	食物アレルギー対応については、栄養士、調理師、保育者間で子どもの現状を把握し、共通理解と連携を図るようにしている。	A Ⓑ C D E
１４	食物アレルギーのある子どもに対しては、医師の指導のもと、個別の状況に合わせた食事提供を行っている。	A Ⓑ C D E
１５	子どもの状況に合わせて量を加減したり、大きさや、やわらかさ、味付けや彩りなど細かい配慮を行っている。	A B Ⓒ D E
１６	子どもの生活リズムや日々の保育の状況に合わせて、柔軟に食事の提供に努めている。	A B Ⓒ D E
１７	献立の趣旨にかなった適切な温度で子どもの食事のタイミングにあわせて食事を提供するよう心がけている。	A B Ⓒ D E
１８	厨房の清掃や整理整頓、換気、採光、室温に気をつけている。	A B Ⓒ D E
１９	複数調理員で調理の分担を確認し、共通理解をして、調理をしている。	A Ⓑ C D E
２０	衛生点検表による毎日の点検、清潔な外衣、帽子（三角巾）、履物の着用、厨房内や調理器具などの取り扱いなど、衛生管理を徹底している。	A Ⓑ C D E
２１	出仲間こども園の保育理念・方針や特長（特別の長所）を理解している。	A Ⓑ C D E
２２	職員間のコミュニケーションを円滑にし、共通理解と協働生を高めようと行動している。	A B Ⓒ D E
２３	仕事を他の同僚に押しつけることなく、進んで同僚の仕事を援助する姿勢を示している。	A B Ⓒ D E
２４	職場の調和を乱す言動がない。	A B Ⓒ D E
２５	職場内で私的グループをつくることなく、職場の同僚全員と良好な人間関係を保っている。	A B Ⓒ D E
２６	意欲的な自己目標を明確に設定し、自分のキャリアアップを図っている。	A Ⓑ C D E
２７	仕事で失敗しても次は一生懸命やろうと思う。	A Ⓑ C D E
２８	面倒なことや困難なことでも避けないで、責任を持って最後までやり遂げることができる。	A Ⓑ C D E
２９	園長や主任、同僚との間で質問をしたり、意見を交わしたりができるような良好な関係を築いている。	A Ⓑ C D E
３０	同僚のそれぞれの役割とあなたが果たすべく役割を理解している。	A Ⓑ C D E

３１	わからないことは曖昧にせず、解決しようと努め、しかし困難なときは助けを求めることができる。	A Ⓑ C D E
３２	常に新しい情報に目を向け専門知識を高めようと努めている。	A Ⓑ C D E
３３	何事も助け合うという姿勢を心がけている。	A Ⓑ C D E
３４	就業規則、服務規律を守ることができる。	A Ⓑ C D E
３５	あなたの欠勤、遅刻、早退の際には、不在の際の準備や事後の確認などのついて、責任をもって行っている。	A Ⓑ C D E
３６	業務上知り得た子どもに関する情報について、たとえ、自分の家族や友人にでも、話さないように心がけている。	A Ⓑ C D E
３７	接遇、電話応対では、丁寧な言葉遣いと気遣いを配慮し、よい印象を与えることができる。	A B Ⓒ D E
３８	園の周辺の住民と良好な関係を築けるよう、日常的な挨拶などを心がけている。	A Ⓑ C D E

自分自身の「ここがすごい」「努力している」「課題点」「改善点が必要だ」など・・・記述してください。

・出仲間こども園で給食を作り始めて、離乳食の大切さを再認識しました。そして今年度は１歳児クラスの子ども達の咀嚼が気になり、もっともっと勉強を重ねる必要を感じました。

・今年「離乳食、幼児食コーディネーター」の資格を取得した。キャリアを活かしながら、更なる研鑽を重ねていきたいと思う。

・未満児クラスの離乳食関係では、実際にクラスにおもむき、子ども達の様子を見守る中でいろいろなことを知ることができたが、以上児のクラスにはなかなか伺うことができなかったので、これからは努めて様子を見にいきたいと思う。